



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月30日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 眞哉
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 菅野 申一
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-235-6004

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	139,231	20.5	8,215	11.1	8,093	11.5	7,181	19.3
30年3月期第3四半期	115,576	14.0	9,236	8.4	9,144	5.5	6,019	4.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 4,692百万円 (40.2%) 30年3月期第3四半期 7,843百万円 (42.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	222.95	
30年3月期第3四半期	186.85	

平成29年10月1日を効力発生日として、5株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	228,010	134,005	57.1
30年3月期	209,146	128,959	61.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 130,277百万円 30年3月期 127,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		6.70		25.00	
31年3月期		45.00			
31年3月期(予想)				26.50	71.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日を効力発生日として、5株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	17.5	10,000	8.8	9,500	10.9	8,000	13.7	246.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	33,424,807 株	30年3月期	33,424,807 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	1,211,699 株	30年3月期	1,210,813 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	32,213,715 株	30年3月期3Q	32,217,437 株

平成29年10月1日を効力発生日として、5株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおください。(業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)
- 平成31年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、平成31年3月28日実施予定の第三者割当増資を考慮した期中平均株式数により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	98,215	3,662	13,608	115,486	89	115,576	—	115,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,804	—	—	5,804	946	6,751	△6,751	—
計	104,020	3,662	13,608	121,291	1,035	122,327	△6,751	115,576
セグメント利益	7,776	729	649	9,155	4	9,159	76	9,236

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	120,176	3,712	15,239	139,128	103	139,231	—	139,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,183	—	—	7,183	1,017	8,200	△8,200	—
計	127,359	3,712	15,239	146,311	1,120	147,432	△8,200	139,231
セグメント利益	6,872	582	671	8,126	27	8,153	61	8,215

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 第1四半期連結会計期間より、管理方法の見直しにより、「調整額」に含めていた棚卸資産の調整額を各報告セグメントに配分しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

参考資料

平成31年3月期 第3四半期決算発表

1. 当第3四半期の業績と通期の予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	増減率	通期	前期	増減	増減率
	(実績)	(実績)			(予想 ※)	(実績)		
売上高	139,231	115,576	23,655	20.5	185,000	157,485	27,514	17.5
営業利益	8,215	9,236	△1,020	△11.1	10,000	10,969	△969	△8.8
経常利益 (ROS)	8,093 (5.8)	9,144 (7.9)	△1,051 (△2.1)	△11.5	9,500 (5.1)	10,659 (6.8)	△1,159 (△1.7)	△10.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,181	6,019	1,161	19.3	8,000	7,034	965	13.7
売上数量	881	796	85	10.6	1,181	1,069	112	10.5
(内、単体)	802	796	6	0.7	1,071	1,069	2	0.2
設備投資	7,671	6,760	910	13.5	12,500	8,119	4,380	54.0
減価償却費	6,914	6,618	296	4.5	9,500	9,047	452	5.0

(※) 予想(1月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況)29.0千円/t、原油(ドバイ)60\$/BL、為替110円/\$

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	平成30年3月期					平成31年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	38,294	37,760	39,521	41,908	157,485	43,912	45,823	49,496
営業利益	3,572	3,056	2,607	1,732	10,969	3,680	2,156	2,378
経常利益 (ROS)	3,478 (9.1)	3,028 (8.0)	2,637 (6.7)	1,514 (3.6)	10,659 (6.8)	3,876 (8.8)	1,873 (4.1)	2,343 (4.7)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,320	1,938	1,760	1,014	7,034	3,987	1,073	2,121
売上数量	270	258	268	272	1,069	281	291	310
(内、単体)	270	258	268	272	1,069	281	251	270

2. 当第3四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売価格・構成	112	1. 原燃料価格	93
2. 変動費のコストダウン	10	2. 諸資材・外注、物流費	32
3. 販売数量	2	3. 修繕費等	6
4. 為替変動(営業損益)	1	4. 連結子会社の利益等	2
		5. 固定費の増加	2
		6. 営業外損益	1
計(A)	125	計(B)	136
		差引(A) - (B)	△11